

郵政民営化委員会（第46回）議事要旨

日時：平成20年10月8日（水） 13：30～15：10

場所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会会議室

（委員4名出席）

○ 本日の議題として、郵政民営化の進捗状況について、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社かんぽ生命保険及び独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構からヒアリングを行った。

○ まず、株式会社ゆうちょ銀行からサービス提供状況、健全経営に向けた取組等の説明を受けた。

これに対し、委員からは

- ・貯金残高が減少傾向を辿っているが、定期性貯金についてはどのように見ているか。
（←「キャンペーン金利を導入している定期貯金が増え、定額貯金が減っている。」との回答あり。）
- ・内部統制（JSOX）対応の一環としての文書化にはどう取り組んでいるのか。
（←「外部のコンサルタントを活用し、業務プロセスの文書化、各プロセスの評価、その実行に向けて取り組んでいるところ。」との回答あり。）
- ・サブプライムローン問題による影響はどうか。
（←「格付けの比較的高い商品を取扱い、複雑な証券化商品には手を出さないようにしてきたため直接的な影響は無い。」との回答あり。）
- ・個人向けローンの本体参入についての取組状況はどうか。
（←「スルガ銀行の個人向けローン商品を代理販売することを通して営業の仕方などを学んでいるところ。本体参入に向け、審査、与信管理についてもノウハウを吸収していく。」との回答あり。）

等の発言があった。

○ 続いて、株式会社かんぽ生命保険からサービスの提供状況、健全経営に向けた取組等の説明を受けた。

これに対し、委員からは

- ・基礎利益では、計画と比較してどのような結果だったのか。
（←「基礎利益では、ほぼ計画通りであった。」との回答あり。）
- ・新規契約の傾向を業界他社と比べるとどのようになっているのか。
（←「ピーク時との比較で、業界他社の落ち込みよりもかんぽ生命の落ち込みが大きい。マーケットニーズが変わっているにもかかわらず、必ずしも商品が対応できておらず、今後は新契約獲得のためにも品揃えを増やしていきたい。」との回答あり。）
- ・システム改革について、どのような時間軸で整備していくのか。
（←「この4月から5年計画で事務の見直しを行っている。また、来年1月にシステム更改を予定しているが、これはハードウェアの更改であり、次の更改時期は8年後である。」との回答あり。）

等の発言があった。

- 続いて、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から業務の実施状況等の説明を受けた。
これに対し、委員からは
 - ・機構が保有している旧契約の個人情報はどうなっているのか。
(←「機構の管理業務は金融2社に委託しており、これに係る個人情報は金融2社が管理し、機構はそれを監査している。」との回答あり。)
 - ・どのようなタイプの訴訟が多いのか。
(←「大部分は相続関係のものである。」との回答あり。)等の発言があった。

- 次回委員会の開催日程等については、別途事務局から連絡することとした。

(注) 以上は事務局の責任でとりまとめたものであり、速報のため事後修正の可能性があることに御留意下さい。また、詳細については追って公表される議事録をご覧下さい。